

「血液培養検査における口腔内細菌検出症例の検討」 について

加古川中央市民病院歯科口腔外科では、現在、周術期に施行された血液培養検査で口腔内細菌が検出された患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

日常診療において、敗血症や重症感染、ショック、不明熱などの場合に血液培養検査が行われます。血液培養検査では様々な細菌が検出されますが、口腔内細菌もしばしば検出されます。現在周術期口腔機能管理が推奨され当院でも積極的に行っております。

本研究では、今後の診療体制の向上を目的に、これまで当院にて周術期に施行された血液培養検査で口腔内細菌が検出された患者さんのカルテ情報から解析を行い、手術前の周術期口腔機能管理の介入状況や、介入がある場合原因となる歯性病巣は術前から発見できたのかどうかを検討します。

【研究期間】

この研究は、加古川中央市民病院長承認日から2024年3月31日まで行う予定です。

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

年齢、性別、BMI、基礎疾患の有無、主病名、術式、血液検査結果、血液培養検査検出菌、周術期等口腔機能管理介入の有無、治療法

【個人情報保護の方法】

研究実施に係る試料・情報を取扱う際は、被験者の個人情報とは無関係の番号を付して、対応表を作成し、匿名化を行い被験者の秘密保護に十分配慮します。対応表は本院の個人情報管理者が適切に管理を行い、外部への提供は行いません。研究の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないように致します。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益・・・本研究にデータをご提供いただいた患者様個人には特に利益と考えられるようなことはありませんが、本研究結果が、今後の診療体制の向上に有用となる可能性があります。

不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

この研究で取得した患者様の治療に関する情報は、論文等の発表から10年間は保管され、その後は患者様を識別する情報を復元不可能な状態にして破棄されます。また、患者様が本研究に関するデータ使用の取り止めを申出された際、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄いたします。

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者様の個人情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者様の個人情報が明らかになることはありません。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

いつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者様のデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、すでに研究成果が論文などで公表されていた時は、結果を廃棄できませんのでご了承ください。

【問い合わせ窓口】

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

加古川中央市民病院 歯科口腔外科 医師 薄田 友理子
連絡先：079-451-5500（代表）